

平成28年地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰について (公共交通政策部交通支援課)

平成28年7月29日(金)に平成28年地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰式が行われました。本表彰は、地域公共交通に関する取組みについて、他地域の模範となるような顕著な功績があった団体を表彰するものです。

今回受賞された団体は、地域住民や地方公共団体が主体となった持続可能な公共交通体系の実現、地域一体となり創意工夫をこらした利用促進策の実施、民間のノウハウを積極的に取り込んだ地域の活性化に資する取組の実施など、他の地域に先駆けて地域公共交通に関する意欲的な取組を行われました。この結果、公共交通の利用の気運が醸成され、利用者数の増加につながっております。

今回は、陣川あさひ町会・函館バス(株)・北海道函館市、弘南鉄道大鰐線存続戦略協議会、「ぐるっと生瀬」運行協議会、加西市公共交通活性化協議会、玉野市地域公共交通会議が受賞し、石井国土交通大臣からそれぞれの団体に表彰状が授与されました。

【受賞団体】

○ 陣川あさひ町会・函館バス(株)・北海道函館市



* 三者で協働し実証実験として「陣川あさひ町会バス」を運行し、住民の要望に合わせた施策を講じ、路線バスとして本格運行を実現するとともに、地域にバス利用の気運を醸成し需要の拡大を図る。

○ 弘南鉄道大鰐線存続戦略協議会



* 弘前市と大鰐町の2市町が先頭に立ち、多様な主体と連携・協働した数々の利用促進施策を実施。また、対象を明確化した戦略的なモビリティマネジメントを行うことにより、減少が続いていた弘南鉄道大鰐線の利用者増を実現。

○ 「ぐるっと生瀬」運行協議会



* 地域住民が計画段階から主体的に関わり、有識者・交通事業者・行政等と協働のもと、その地域にふさわしい、住民の目線で背丈にあった持続可能なコミュニティバスの運行を目指すとともに、地域内交流を促進し、魅力的で活力あるまちづくりを推進。

○ 加西市公共交通活性化協議会



* 地域住民・交通事業者・行政の三者が連携・協力することにより地域公共交通の活性化に努め、特に北条鉄道では、民間のノウハウを積極的に取り込み、各種取組みを実施することにより、営業開始以来、営業収益が過去最高を記録。

○ 玉野市地域公共交通会議



* 玉野市地域公共交通計画（H24.3）に基づき、H15をピークに利用者が減少していたコミュニティ交通の見直し、乗合タクシーの新規導入により地域公共交通ネットワークを再構築。配車システムの導入、地域一体での利用促進、交通会議での不断の検証などにより利用者の定着・増加を実現。

<参考：表彰の選考基準>

- (1) 住民、NPO、企業等の地域の多様な主体が、地域公共交通に関する取組みに参画していること。
- (2) 地域の実情に合った創意工夫が凝らされていること。
- (3) 事業の今後の自立性・継続性が見込まれていること。

※ 各受賞者の取り組みの詳細は下記HPにて紹介しております。

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000042.html